

なぜなぜ  
ヒント①

## 移動の選択肢を増やすには？

「車がないと不安」という課題の背景には、「自家用車に代わる交通手段が十分に整備されていない」という現状があることが、議論を通じて明らかになりました。現在運行されている町営バスに加え、町民同士の共助によって交通手段を拡充するライドシェアの制度化や、乗り合いタクシーの導入など、自家用車以外の選択肢を求める声が多くなっています。

く聞かれました。

また、歩きたくなるような歩道の整備や移動販売の積極的な支援など、「車に乗らなくても生活できる環境」を目指す意見もありました。車に頼らないことで、歩くスピードでの移動が楽しめるようになり、健康の促進や地域の魅力向上にもつながると考えます。

なぜなぜ  
ヒント②

## 生活に必要なサービスの集約と地域拠点づくり

車以外の移動手段が乏しいことへの不安には、「生活に必要なサービスが町外でしか利用できない」という点も大きな要因として挙げられます。買い物に加え、医療・福祉サービスや娯楽など、日常生活の多くを町外に依存している現状は、本レポート第3号（テーマ「さまざまなことを町の外に頼っているのは、なぜ？」）でも言及されています。新たな施設の整備にあたっては、こうし

た町外の便利な機能を一か所に集約することを望む声が多く聞かれました。

多くの町民が車で移動することを前提とした生活を送っていることを踏まえると、ロータリーや駐車場を充実させ、「車で利用しやすい公共施設」とすることは理にかなっています。サービスの集約は、多世代が自然に集まる地域拠点の形成にもつながる可能性があります。

なぜなぜ  
ヒント③

## 分かりやすい情報発信が利用促進のポイント！

議論の中では、町営バスの存在は認識されているものの、「利用したことがない」「乗り方が分からぬ」といった声があり、せっかくの公共交通サービスにもかかわらず、情報が十分に行き届いていない可能性が示唆されました。多世代に分かりやすく情報を提供することはもちろん、「乗つてみたい」と思えるような魅力的な情報発信も重要です。公共交通と連動した地域の魅力をSNSで発信する取り組みは、まだ車を運転できない若

年層が積極的に関わってくれる可能性があります。

また、「ノーマイカーデー」などの公共交通利用促進イベントは、車があることが暮らしの前提となっている中山町だからこそ、行政と町民が一体となって面白いアイデアを出し合いながら取り組めそうです。持続可能な公共交通を育てていくためには、地域全体での理解と協力、そして積極的な利用が鍵となります。

公共施設再配置計画については、その必要性が「第6次中山町総合発展計画」にて説明されています。以下URLまたは、右記コードよりご確認ください。

◎中山町「第6次中山町総合発展計画を策定しました」

<https://www.town.nakayama.yamagata.jp/soshiki/seisaku/machidukurisuishin/214.html>



【主催】中山町総合政策課まちづくり推進グループ・総務広報課防災安全対策室  
(中山町大字長崎120番地／電話：023-662-4899)

【制作】東北芸術工科大学デザイン工学部企画構想学科 田澤ゼミ

（2026年1月発行）

# なぜなぜ 大会議

開催レポート  
第5号



## どこにもアクセスが良いけれど、車がないと不安なのは、なぜ？

中山町では、現在策定を進めている「第6次中山町総合発展計画後期基本計画」及び「中山町公共施設再配置計画」をより良いものにするために、町民の皆さんのが普段の生活の中で感じている「もっとこうだったらいいのに…なぜ？」という不安・不満について、課題の根底と向き合い、その改善策を考える「なぜなぜ大会議」を今年8月に開催しました。このレポートでは、議論されたテーマの一つ「どこにもアクセスが良いけれど、車がないと不安なのは、なぜ？」について、当日のワークショップで出された意見をお届けします。

中山町では、「車さえあれば便利」「車があれば暮らしやすい」といった声が多く聞かれる一方で、公共交通への満足度は高くありません。こうした「車に頼らざるを得ない状況」に対し、町民からは「車が運転できないこと、あるいは将来的に運転できなくなることが、中山町で暮らし続ける上で不安である」との声も寄せられました。

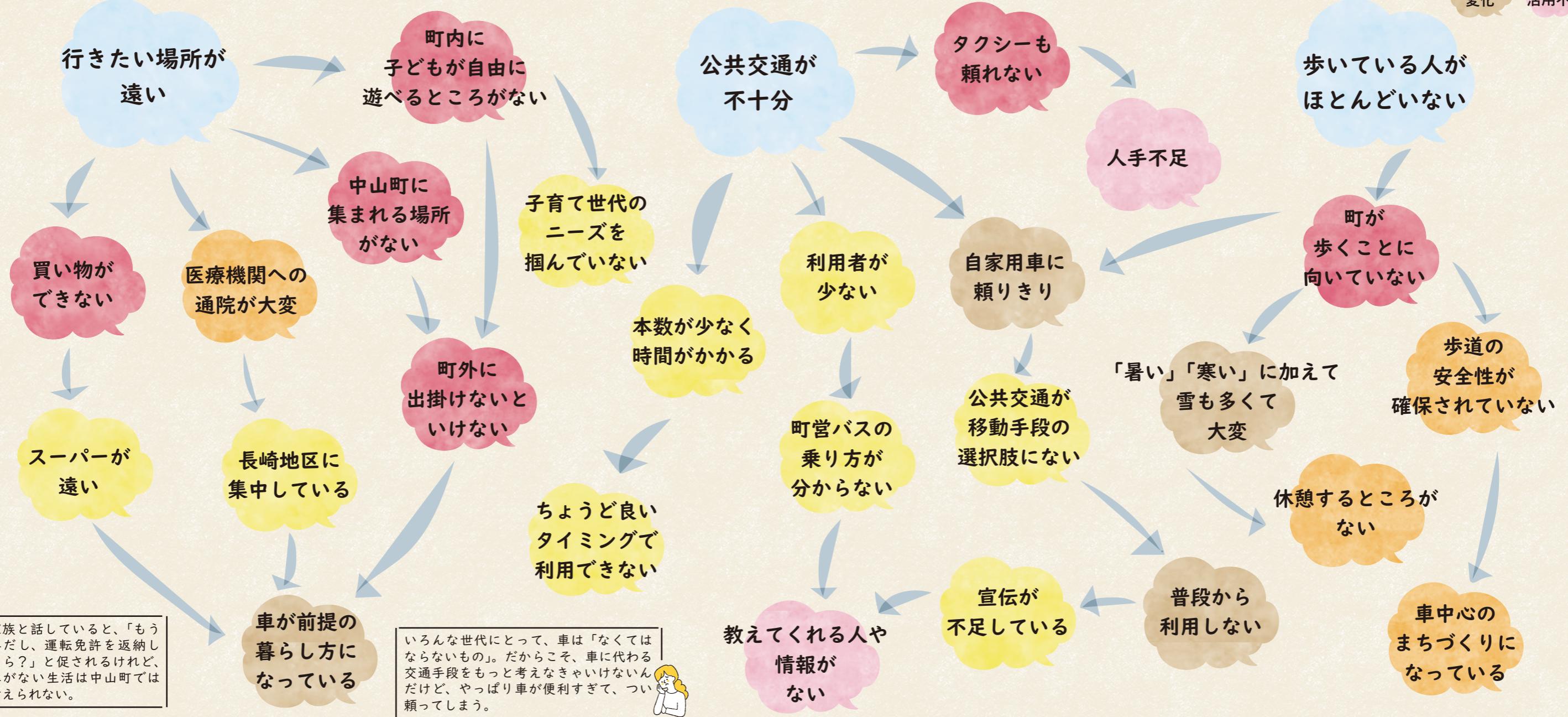
この不安の背景には、自家用車以外の移動手段や生活サービスの不足があります。今回の議論では、「車に頼らず暮らしを環境づくり」に関する多様なアイデアが出されました。また、医療・買い物・行政機能の集約施設への期待や、SNS・イベントを活用した情報発信による公共交通利用促進など、交通不安の解消に向けた意見が寄せられました。



## なぜなぜ連鎖マップ

どこにもアクセスが良いけれど、車がないと不安なのは、なぜ？

場づくり  
(機会)  
の不足  
空間  
の未整備  
意識の  
変化  
人材の  
活用不足



### 課題解決のために 自分たちで取り組めうこと

「とにかく歩きたくなる」  
環境をつくる！

「車で移動すること」だけでなく、「歩いて移動すること」も当たり前な状況づくりが大事。清掃活動や花壇づくりをとおして、歩きたくなる環境を整備していく！

積極的に公共交通を利用！

車だけに頼らない交通手段を多世代で考えることは、子どもや高齢者の暮らしやすさの向上にもつながるはず。公共交通を利用したくなるような仕組みやイベントを住民提案型で実施するのも面白そう！

### 課題解決のために 行政に期待したいこと

町営バスの運営の見直し

町営バスについては、参加者から「もっと使いやすくしてほしい」という意見が多数。学校や病院への直行便の導入や利用者数をもとにしたルートの見直し等、町民目線での改善も視野に入れてほしい！

ライドシェアの制度化

移動手段を確保するための取り組みとして、ライドシェア（=個人の車を使って、他の人の移動を助ける交通サービス）を導入する自治体が増えている。中山町でも導入を検討することで、住民同士の共助により課題を解決できるのでは？

分かりやすい情報発信を！

今回の議論では、高齢者だけでなく若者からも「町営バスの乗り方が分からぬので、積極的に利用できない」という声も聞かれた。もっと安心して公共交通を利用もらえるよう、分かりやすい情報発信が必要！

移動販売を支援！

高齢者の自家用車移動はやっぱり心配。車で移動する必要がないように、移動販売が各所で展開されるといいのかも！移動販売を始めるには、手間・時間・お金がかかるため、そのための資金を補助するような仕組みを考えてほしい。

安全な歩道を整備！

中山町は道路が充実していても、歩道の安全が確保されていないところが多い様子。子どもや高齢者といった車を運転しない町民も安心して暮らせるようなインフラ整備は急務！

### 課題解決のために 新しい公共施設に期待したいこと

多機能な完結型施設にする！

一つの施設にさまざまな機能やサービスを集中させることで、移動を少なくするのも、交通課題の解決につながるのでは？子どもや高齢者が安心して一日を過ごせる施設にもなると思う！

ロータリーを整備！

新しく施設ができるエリアにできたとしても、車で来館する町民が多いと思う。それであれば、始めから車の乗り入れがしやすいロータリーをつくり、子どもや高齢者の送り迎えがスムーズにできるような場所になることが必要だと思う！